

令和5年10月31日
県土整備部道路課

国道279号風間浦バイパスの 概略計画を策定しました

～ 国道279号風間浦バイパス概略計画PIプロジェクト ～

令和3年8月の下北地域における大雨災害を踏まえ、県では、令和4年度より、パブリックインボルブメント（以下、PI）手法を取り入れた国道279号風間浦バイパス（風間浦村易国間～むつ市大畑町木野部間、L＝約14km）の概略計画検討に着手しています。

これまで沿道住民の方々や道路利用者を対象としたアンケート調査やヒアリング、3回にわたる地域懇談会を実施し、本バイパスの概略計画検討に際し地域とコミュニケーションを図ってきました。

去る9月12日に行われた最終の地域懇談会で、これまで検討してきた概略ルート帯及び集落などからバイパスまでのアクセス路について、地元との基本的な合意が得られたことから、下記のとおり概略計画を策定しましたので、お知らせします。

記

●概略計画の内容

- ①起終点：風間浦村易国間～むつ市大畑町木野部
- ②計画諸元：L＝約14km、二車線、設計速度50km/h
- ③概略ルート帯：全線バイパス
- ④主な連結する道路：アクセス路5箇所
- ⑤主たる構造：切土・盛土、トンネル等

※道路課ホームページに概略計画を記載した広報誌及び概略計画PIプロジェクトの概要パンフレットを掲載しています。

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部 道路課
担当者	整備推進G 相馬 良壘
電話番号	直通 017-734-9651 内線 6712
報道監	県土整備部理事 古市 秀徳

国道279号風間浦バイパスの概略計画を策定しました

～ 国道279号風間浦バイパス概略計画PIプロジェクト ～

第3回地域懇談会の結果

○ 全線バイパス案を概略ルート帯に選定しました

全線にわたって、海岸部に位置する現道(国道279号)とは別路線となる全線バイパス案を概略ルート帯に選定しました。全線バイパス案は、防災評価と交通評価が高評価であり、必要な機能として地域住民から要望意見が最も多かった「災害時に代わりになる道路」「冬期にも安心して通行できること」に最も適したルートです。

○ アクセス路5箇所を選定しました

バイパスは、山側の高台を通過するため、海岸部の集落などからバイパスへのアクセス路が必要です。アクセス路は中面の5箇所を予定しています。



概略計画

起終点

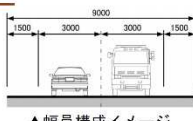
起点は「風間浦村易国間」
終点は「むつ市大畑町木野部」です。

概略ルート帯

全線にわたって、現道(国道279号)と別路線のAルート(全線バイパス案)とします。(以下、参照)

計画諸元

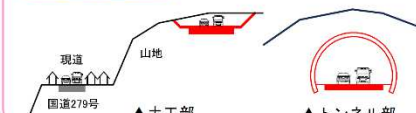
道路延長: 約14km
設計速度: 50km/h
車線数: 2車線
幅員: 9.0m



主な連結する道路

- アクセス路(5箇所)
①桑畑集落内 ②焼山崎付近
③下風呂集落内 ④旧下風呂小学校付近
⑤下北自然の家付近

主たる構造



風間浦バイパス L=約14km

